

金沢駅からのバスを準備するなど、文字通り辛いところに手の届く準備がなされていました。

受付を済ませ部屋に向かうも、まずは部屋のメンバーが誰だか思い出せずおっかなびっくりで自己紹介合っている光景が、とても面白く映りました。勿論私自身も同様で、特に長くお会いしていない女性などにはとても気を使った挨拶をしたのが今も鮮明です。

午後6時30分さあ、これから宴会！となり大広間に全員集合、まずは開会に先立っての記念撮影から（だったと記憶・・・）という事で舞台に集まったものの、ウワー久しぶり！ウォー懐かしい！の声と握手などで大混乱、やっと撮影を終えて始まった懇親会では、小山幹事長の挨拶乾杯に始まり、歓談に続いて参加者全員の自己紹介・PRタイム、宴会は大いに盛り上がりました。隅々では夫々超久しぶり！何年ぶり？の声やおしゃべりで自己紹介を聞き逃した人も沢山いたようです。ちなみに私は某カメラメーカー社員ゆえ、買い立ての一眼レフ（N社ではありません！笑）を持参したため、一人ひとりの自己紹介を撮影、ほとんど全員の自己紹介をゲットすることができました！

一部のメンバーは別れを惜しみながら、バスで帰りましたが、大多数のメンバーは更に館内で夜更けまで2次会で楽しく過ごしたり、じっくり温泉につかったりと本当に！楽しい一夜を過ごしました。

翌朝はみんなで再会を誓い合って解散しましたが、離れきれずにそのまま市内に向かったカップル？もいたとかいないとか！？

以上私からの還暦同窓会報告とさせていただきます！関西で今回参加されなかった皆さんも次の機会には是非再会しましょう！

祈再会！



ヨーロッパ鉄道施設見学記

23期 五藤 雅彦

昨年9月21日から30日までドイツ・ベルギー・フランス各国の海外鉄道施設調査に参加いたしました。またドイツ首都ベルリンで開催される「イノ・トランス」と呼ばれる国際鉄道技術見本市の見学も行いました。

ドイツからフランスまでの各国間移動は新幹線で、4種類の列車に乗りました。車両の腰掛は前後に転換や回転が出来ず知らない人が対面に座ってもずっと目的地まで無言で向き合う状態です。またリクライニングも何段階にも調整が出来ない構造でした。

乗心地は日本の新幹線と遜色はないのですが、欧州の鉄道文化と言えばそれまでですが、車両サービス面では

日本が優ると思いました。フランスでは航空荷物をそのまま鉄道輸送する計画も

進められており、空陸で旨く協調がとれており日本のように時間と価格の競争という雰囲気ではないです。

駅施設ではベルリン中央駅はモダンなガラスを多彩に使用し、日本にはこの種のデザインの駅は現在ありません。商業施設が多数入っており、駅自体がショッピングモールになっており見ているだけでも十分楽しめます。

改札口がないため買物客と乗客の区別が付きません。人の流れに沿って歩くとそのままホームに出るという具合です。

観光の話になりますが、ドイツは東西の区別はもう無いのですが、町並や建物の違いを見ると当時の東西分裂の爪痕がまだ残っている気がしました。ケルン大聖堂は建築するのに延べ600年要したゴシック建築で日本の神社仏閣とは違った見応えがあります。土産はドイツのフェイラー製ハンカチが女性に大変喜ばれました。何回洗濯しても生地が傷まないそうです。日本の半額で買えました。

ベルギーの小便小僧は有名ですが直ぐ近くに小便お嬢があるのはあまり知られていないようです。ブリュッセルのレオンという店でムール貝をバケツ一杯食べてさらに地ビールを飲んで2500円ぐらいと格安でした。ビールの本場で約200種類あるそうで20種類ぐらいの利き酒に挑戦をしたのですが、酔って結局何が美味しいのか分からずじまいでした。チョコもベルギーが他国より優ると思いました。ゴディバ本店へ立ち寄ったのですが、店の造りは日本店と同じです。

パリは夜のセーヌ川下りとリドの踊りが脳裏に焼き付いています。男性同士では勿体ない気がしました。もう一度行ってみたい所の一つです。

ヨーロッパの食事は昼夜共に前菜、メイン、デザートのおまけにデザートはケーキとアイス。それも日本の1.5人前ぐらい。後半はデザートをキャンセルしましたが、それでも最後のパリで恐る恐る体重計に乗るとしっかりと2キロは肥っていました。未だに元に復帰していませんが、大変貴重な経験をさせていただきました。



▲ドイツ・ブランデンブルグ門

トピックス

二水会館を訪ねて

インターネットの検索で「二水会館」がヒットした。これは是非、取材に行かねばと東京支部総会が開かれた翌日、秋葉原から初めて「つくばエクスプレス」に乗った。日曜日とあつてか車内は混んでいない。全線高架軌道だそうで、速いはやい、30分ほどで茨城県の守谷駅に到着。ここで関東鉄道に乗り換えだ。

驚いたことに、駅は超モダンなのに、ホームに止まっていたのは古い一両の気動車、いきなり超ローカル線に変わる。しかも、ガラガラの車内へ後から乗ってきたのが南米系の少年達5人、シートに寝転んだり、通路に足を投げ出したり、傍若無人なふるまい、おまけに聞きなれない言語でしゃべっている。ここは外国か? 「えらい所に来てしまったな」の思いが頭をよぎって、恐怖感すら覚える。

着いたのは水海道駅。「みつかいどう」という、てっきり「みずかいどう」というのだとばかり思っていた。

当地は日系移民の子孫がブラジルなど中南米から就労しており、駅周辺には日系ブラジル人向けのスーパーやブラジル銀行の出張所、私立のブラジル人学校などがあり、ポルトガル語の案内・表記が多い。

駅の案内板に従って歩いて、信号のある交差点を越えるとすぐに「常総市立図書館」への矢印が現れた。そこを左折すると住宅街の中に大きな建物が見えてきた。エントランス正面右手の中庭芝生にクリーム色の瀟洒な建物がある。一目で二水会館と分かった。入口の扉は開いていて、なんなく内部に入れる。外観は二階建て風だが、中はいたってシンプルな格天井のホールになっている。ちょうど「常総市まちなか展覧会 2010」が開催中で、その会場の一つになっており、壁に作品が展示されていた。

図書館の中に入って、「インターネットを見てやってきました。二水会館のパンフレット下さい」と要求した。するとカウンターの中にいた学生アルバイト風の男性は、後ろの棚や引き出しの中を探し出した。そして、カウンターから出てきて、また入って、書架の方へ歩いて行く。その行動はあきらかに動揺を来している風だった。

「ははあ〜。これが、トークショーで森田さんが言っ



▲水海道案内図（二つの川に挟まれている）



■二水会館

竣工 1913年（大正2年）

所在地 茨城県常総市水海道天満町1606
常総市立図書館内

構造 木造平屋建て、瓦葺、109
㎡ 国・登録有形文化財

旧水海道役場。この建物は平屋建てですが、窓を上下2段に配して間に胴蛇腹を廻した2階建の外観をしています。1984年（昭和59年）に現在地へ移築され、鬼怒川と小貝川に挟まれた地域ということで「二水会館」と命名され、かつて水運で栄えた町のシンボルとなっています。

『茨城歴史散歩』などネット参照

ていた『困った状態』に陥っているんだ」とひとりほくそえむ。くだんの男性は戻ってきて、もう一度同じ行動を繰り返したあげく、やっと中年の女性職員を連れてきた。なかなかの名優だ。「パンフレットは作成していません。インターネットのデータが全てです」「じゃあネットのデータ利用させていただきます」とことわって帰って来た。撮影してきた「二水会館」の写真を見て、ある先輩が「穴水町校舎の図書館に似ているなあ」とつぶやく。資料を探してみたが、校舎正面の写真しか見つからなかった。



▲二水高校穴水町旧校舎「二水二十年」より

■日 時：2011年1月9日(日)14:00開演
 ■会 場：サンケイホールブリーゼ
 ■演 出：森田雄三

11月28日の産経新聞に「イッセー尾形の一人芝居」の全面広告が載っていました。その演出を担当しているのが、二水高校17期生の森田雄三さん。「森田さんが大阪に来る！応援にいかなくちゃ」とばかり、役員会を中心に人を集め、観劇会を催しました。応援に行ったつもりが、逆に森田さんから元気ももらった一日でした。

【アンケート用紙のコメント】

イッセーが60歳を目前にして、過去700作もの作品を創りながら、なお今日ご覧頂くような、新ネタを発表することは、40年間を共にネタ作りしている演出の森田でさえも、「舞台に掛けて初めて何をしたかったかを知る。それを恐れないイッセーのすごさを今になってまた見たな」と驚いているのです。誰にも頼らずに、国内外を旅して身体で現実を見てフリーター生活をちゃんと受け入れて来た誇りのようなものもあります。27年間通っている、この大阪で2011年の初ステージに立つ意味は深いです。肉体の限界は必ずやって来るのをイッセーは十分知って、自分にしかできないだろう世界を探すために皆さんの前に出て行きます。

【森田さんご夫妻へ】

とてもお世話になりました。まず、びっくりしたのは奥様がじきじきに應對され、特別席をご用意していただいたこと、恐縮しております。観劇といえば、観客は老人が多く、時間つぶしのようなものと思っておりました。最初の驚きは、入場者にかなり若い方が多かったこと。なぜ？会場満杯、なんで？しっかり観劇して、お世辞のひとつも言わなければと、一生懸命ついていこうと頑張ったのですが、あれよ、あれよという間にあちらこちらからドッと笑いが漏れてきます。どうも私だけが浮いていたようでした。

ある人が解説して「よくある日常の失敗とか、困ったこととかがあがるでしょう。そんなエピソードや自分自身が体験する滑稽な話は、それをいくら伝えたくても、その場にいなかった人には、その面白さがよく伝わらないものなのよ。あの事もこの事も、森田雄三演出、イッセー尾形が演じてくれたなら、きつ的確に、またはそれ以上



の面白さを見せてくれるに違いない。だから演劇は良いなあ。」と言っておりました。だから雄三さんはエライのかと得心しました。

【著書拝見しました。】

これは素晴らしい、一気に読みました。なかなか良い誰かに勧めたい名著です。今の若者には夢も職もなく、未来に希望が持てない。政治が、経済が滞る閉塞

感のなか社会も家庭も崩壊ムードで若者に笑いが無い、心底から笑えるものが必要だ。笑いは百薬の長、観客が自分の中に笑いを発見させる術をイッセー尾形は演技の中で表現している。この日の観客の反応をよく理解している。他人を笑いものにするでもなく軽蔑するのでもなく、己自身に笑いを溜めて人生の糧を得る。毎日がつらい、いやになることも多いけど、悲観していても何にもならない。若者に希望と勇気を与える笑いを感じさせるもの、それは森田雄三演出のイッセー尾形なのだ。笑いがなければ気が滅入る、病気にさえなってしまう。活気がない日本の再生のキーワードであり、処方箋なのだ。笑いは若者だけでなく、中年にも老人にも有効だ。森田さん、すごいことを貴方たちはやっているんですね。無(M=森田)から有(Y=雄三)を生み出す感性の真髄、まさに芸術の世界、演劇の世界で大きな志を感じさせます。本当に意義深い時間をありがとうございました。

【森田雄三・清子さんののがき】

前略 豪華なお菓子を沢山たくさん頂きありがとうございました。二水高校の校風が伺われて、皆さんのお人柄の品の良さに深く打たれました。また是非、私も皆様の会に混ぜて下さい。また会える日を楽しみにしています。 草々

【ホームページ投稿記事】

行ってきました！ほぼ満席の大笑い！よかったですよ～関西同窓会からは11名の観賞参加となりました。このお芝居はどこか自分の中に思い当たる節のある笑いネタを内蔵してるので時折の苦笑でしょうか？一人芝居は言ってみれば落語に似ていると感じる人もいれば、自虐風の点から綾小路きみまろの漫談を思い出させるという感想もあり、果てはどこが可笑しいか分からなかったところを仲間に説明を求めたりと様々ですが、11人と観賞したことでそれぞれ感想を語り合って笑いを広げられたのは団体観賞のおまけ？です。引き続きの「イッセー尾形とすてきな先生」公演が終わるのを待って同じ打ち上げ場所に移動して森田さんや奥さまの清子さんと杯を重ねて語り合えたのがまたよかったです。奥さまの家具を持たない暮らしぶりと人生の大事な場面で助け手(肝っ玉大きく助けてくれる人)に恵まれて来られたらしいお話はとても簡潔で生きる真髄を教えられた気がしてしばらくは私の心に残りそうです。すてきな夜をありがとうございました。



▲打ち上げ会 (中央が森田さん)

◆関西同窓会 第11回総会・懇親会

- 日時：2010年4月18日（日）16：00～
- 場所：ホテルグランヴィア「名庭の間」
大阪市北区JR大阪駅ビル
- 43人出席

会員名簿が更新されたので、出席者の増加が期待されたが、43人に留まりました。福島則明副校長より、二水高校の部活動成績、大学合格者数などが報告され、本田稔さん(8期)の発声による乾杯で懇親会に入りました。田中さん(19期)の会計報告の後、本部同窓会副会長・小川陽子さんから中川宗之前関西同窓会会長に感謝状が贈呈された。関西支部からは「からたち関西縮刷版」の上製本が記念に贈られた。



▲副校長福島さん



▲本部副会長西野さん



▲関東支部高木さん



▲司会中村さん(26期)



▲乾杯本田さん(8期)



▲田中さん(19期)



▲会長林さん(17期)



▲中川さん(7期)へ小川さん(19期)から感謝状が贈られ、広崎さん(17期)から記念品が手渡された。



▲受付風景

◆石川県立金沢二水高校関西同窓会規約◆

第1条 **名称** 本会は石川県立金沢二水高校同窓会(本部同窓会)の関西支部にあつて、本会の名称を石川県立金沢二水高校関西同窓会と称する。

第2条 **事務局** 本会の事務局は、事務局長住所所在地とする。

第3条 **目的** 本会は本部同窓会の目的達成に協力すると共に、近畿圏在住会員相互の親睦を深め、その融和向上を図ることを目的とする。

第4条 **会員** 本会は、原則として近畿圏内に居住し、または勤務先を持つ同窓生、および特別の会員を持って組織する。

第5条 **役員** 本会には下記の役員を置き任期は2年とする。なお、会長は本部同窓会の常任幹事を兼任する。

会長1名 副会長若干名 事務局長1名 会計1名 監事2名 常任幹事若干名

第6条 **職務及び任期** 各役員の職務は下記のとおりとする。

1. 会長は、本会を統括し本会を代表する。
2. 会長は、本部役員会に出席して意見を述べ、また本会の決議による議案を本部に提出することが出来る。
3. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある場合はその代理を務める。
4. 事務局長は、本会の会務を処理し、本会の事務局を代表する。
5. 会計は、本会の会計事務を処理する。
6. 監事は、本会会計を監査する。
7. 常任幹事は、役員会を構成し、会長の職務執行につき意見を述べ本会の適正かつ円滑な運営を図る。

8. 役員会の任期は2年とし、再任を妨げない。

第7条 **顧問、相談役** 本会には顧問、相談役を置くことができる。顧問、相談役は役員会の推薦と総会の承認に基づき会長がこれを委嘱する。1. 顧問は、役員会に出席して意見を述べることができる。

2. 相談役は、役員会に定例出席して意見を述べることができる。

3. 相談役の任期は2年とし、再任を妨げない。

第8条 **会計** 本会の経費は、本部同窓会よりの配賦補助金をもってこれにあてる。1. 本会会員は、本部同窓会に会費1000円(年)を納入するものとする。

2. 本会会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日に終わる。3. 本会会計収支は、本会総会において報告した後に本部同窓会に報告される。

第9条 **会議** 本会の会議は総会及び役員会とする。1. 本会の総会は、年1回開催する。必要のあるときは、臨時総会を開催することができる。総会の決議は、出席会員の過半数の賛成によってこれを決める。

2. 役員会は必要に応じ、会長がこれを召集する。

第10条 本規約に定めのない事項については、その都度協議する。

附則 1999年11月14日 制定
2000年11月19日 改定
2007年2月4日 改定

関西同窓会の規約はホームページでご覧になれます。 <http://www.kansai.zaq.jp/nisui/>

金沢二水高校関西同窓会

検索

◆ビアパーティー2010in梅田

- 日時；2010年9月12日(日)12：30～14：30
- 大阪弥生会館 ●会費 4000円

いまや、すっかり恒例となった「関西同窓会ビアパーティー」は大阪梅田で開催されました。連日の猛暑の影響で出席者は少ないですが、金沢から3人、関東から1人の参加をいただきました。このパーティーを楽しみにしている人達の笑顔が溢れていました。



▲本部長牧さん



▲支部長林さん

●出席 34人



▲本部副会長小川さん



▲本部副会長西野さん



▲副支部長棚池さん



▲お昼時、まずは美味しい料理を、皆さん元気で



▲「ビアクイズ」優勝



▲会場は比叡の間

◆まほろばハイキング

●西ノ京ウオーク

- 実施日：2010年6月6日(日)11：00～
- 歩行距離：約6km ●参加者：6人
- コース：西ノ京駅⇒薬師寺⇒唐招提寺⇒垂仁天皇陵⇒朱雀門⇒大極殿⇒大和西大寺駅



▲大極殿前広場にて



▲薬師寺東塔

●大阪の街歩きウオーク

(折口信夫の通学路を歩く)

- 実施日：2010年11月28日(日)10：30～
- 歩行距離：約6km ●参加者：8人
- コース：地下鉄大国町駅⇒鷗町公園⇒今宮戎神社⇒新世界・通天閣⇒一心寺⇒安居神社⇒愛染坂⇒四天王寺⇒近鉄上本町駅



▲折口信夫生誕の地碑



▲新世界通天閣



▲四天王寺西門

◇関西同窓会役員名簿◇

会長	林 茂	17期
副会長	松田 堅太郎	8期
"	河本 富子 (柳橋)	18期
"	棚池 康信	18期
会計	田中 芳文	19期
監事	馬場 かよ子 (浅田)	18期
"	五藤 雅彦	23期
事務局長	島 寛	21期
事務局	広崎 智子 (田中)	17期
"	富井 容子 (安田)	20期
"	小菅 美和子 (新宅)	21期
"	山田 雅子 (吉田)	21期
"	中村 智	26期
常任幹事	吉崎 博	8期
"	川端 光昭	13期
"	宿谷 詔兵	14期
"	下谷 正弘	15期
"	岡本 嗣朗	16期
"	秋本 勉	18期
"	森 啓二	24期
相談役	吉倉 良雄	4期
"	安井 正弘	5期
顧問	幸村 誠	5期
"	中川 宗之	7期